

Wellness Report

in IZO

第2号 残暑を乗り切れ！ カヤックで川下り

実施年月日 令和元年 9月25日

参加人数(内訳) 4名 (JALEC: 2名、JAC: 1名、一畑トラベル: 1名)

出雲での第二回目の Wellness 活動は「カヤックで川下り」に出掛けました。朝 9時に現地に赴き、漕ぎ方や転覆時の緊急脱出のレクチャーを受けてからの乗船です。自分の命に関わるので全員真剣に聞いていました。

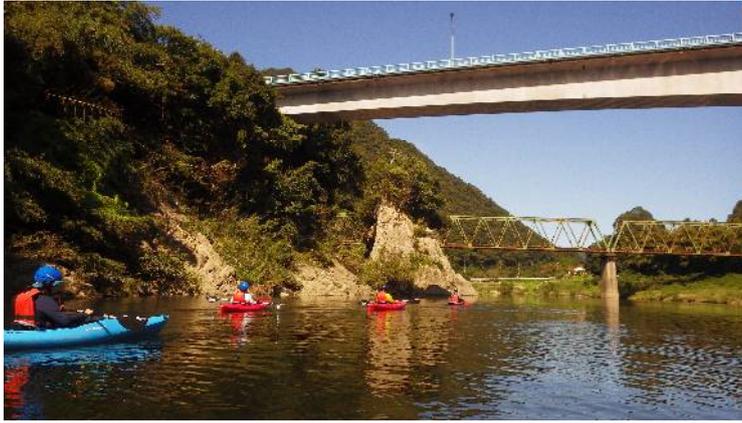
実際に乗ってみると、不安定の様で思いのほか安定していたり、安定している様で簡単にバランスが崩れて転覆しそうになったりと、普段なかなか気を使わないバランスについて真剣に考え、鍛えられたのではないのでしょうか。

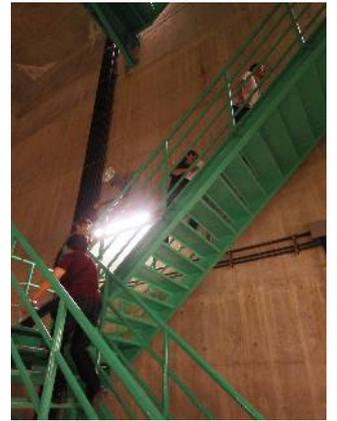
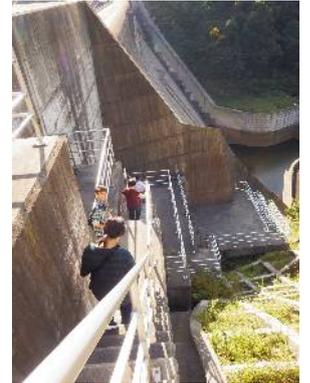
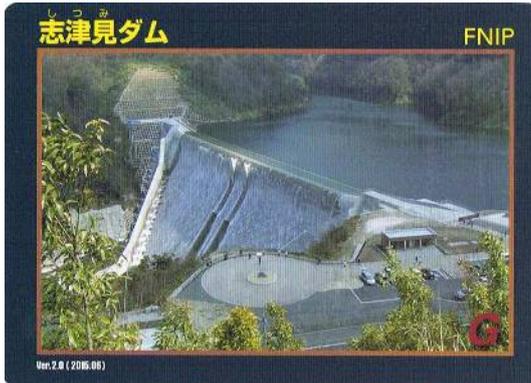
一人くらい転覆するかと思っていましたが、誰一人ひっくり返らず秋晴れの爽やかな気候の中、平和で楽しい時間を過ごしました。

また、カヤック体験へ向かう道中にある「志津見ダム」を帰りに見学してきました。色々説明してもらいながら普段入る事の出来ないダムの内部を見て回りましたが、職員の方も最初の内は迷子になったと云う程の複雑な内部をたっぷり 1時間以上かけて歩きました。

階段を登って、降りて、横移動。ダム見学だけで十分ウォーキング企画として成り立つ程の運動量でした。







DAM-DATA

所在地：鳥根県飯石郡飯南町
 河川名：斐伊川水系神戸川
 型式：重力式コンクリートダム
 ゲート：自由越流堤（非常用）
 オリフィス×2門（洪水調節用）
 ジェットフローゲート×2門（利水用）
 堤高・堤頂長：81.0m・266.0m
 総貯水容量：5,060万m³
 管理者：国土交通省
 本体着工/完成年：2004/2011年
 詳しいデータはこちら <http://www.cgr.mlit.go.jp/zumokasen/>

ランダム情報

試験湛水中の平成23年3月30日に満水位（サーチャージ水位）に達し、我が国初となる「全堤長自由越流」を行いました。オモテ面の写真はその時のものです。

こだわり技術

★連続サイフォン式取水設備
 従来の鋼製ゲートなどではなく、連続的に配置された逆V字形の頂点に空気を出し入れすることで開閉を行う構造で、本設備の採用は日本初です。

